

わがまちまごめ

発行 所 委員会
わがまち大田馬込地区推進委員会
事務局 馬込特別出張所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎(3774) 3301 (代)

保存修理完成した

重要文化財 本門寺五重塔

馬込からの散歩道 その八

前回五重塔までの散歩道を紹介しましたが、今回は、わが国の重要文化財である本門寺の五重塔を中心に紹介したいと思います。

国の重要文化財である五重塔は、文化財保護法五十年記念協賛事業として

文化庁、東京都、大田区各教育委員会指導のもと、五年の歳月をかけて解体修理が行われ、平成十四年三月末日完了しました。

本門寺五重塔は、徳川二代将軍秀忠の乳母、岡部の局の発願で建立された

関東最古の五重塔です。慶長十一年(一六〇七)に着上し、翌十三年に完成しました。大工の棟梁は江戸幕府の御大工

鈴木近江守長次で、名をとどめた最初五重塔です。

当初は大堂の右斜め前に建てられました。同十九年(一六一四)の地震で大きく被害を受け、五層屋根が瓦葺から木瓦

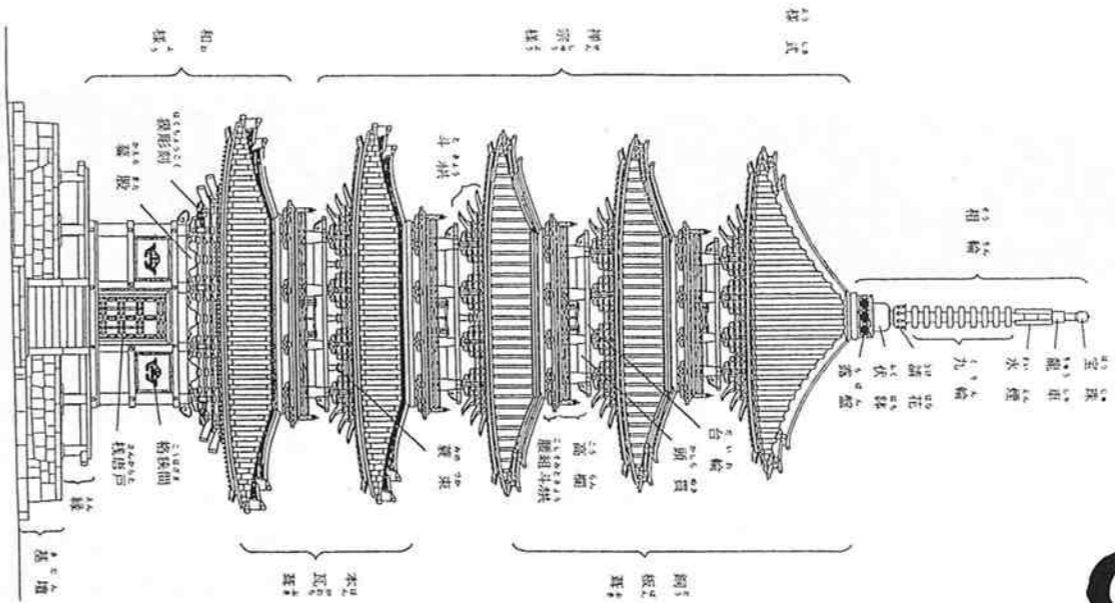
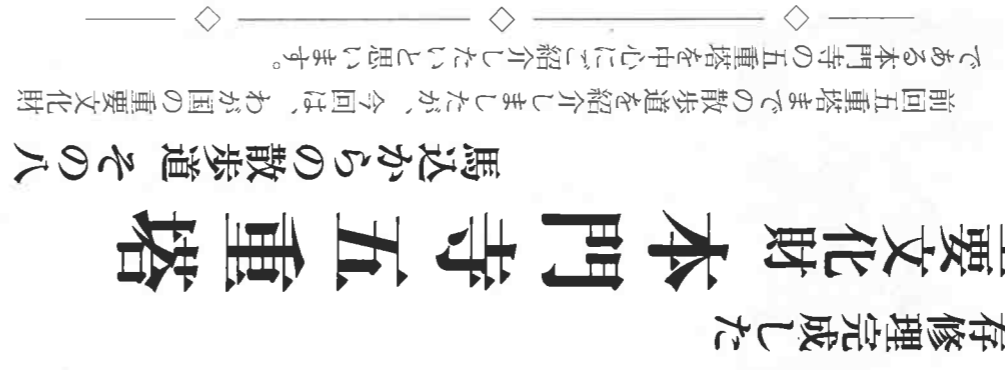
葺にふき替えられました。その後元禄十五年(一七〇六)現在地に移築する大修

が五重塔です。

した。同十九年(一六一四)の地震で大きく被害を受け、五層屋根が瓦葺から木瓦

葺にふき替えられました。その後元禄十五年(一七〇六)現在地に移築する大修

が五重塔です。



- (一) 最も重要な心柱を礎石からでなく初層天上裏の梁から立ち上げている。
- (二) 心柱の頂きにある相輪部が短い。
- (三) 屋根幅が上層になるほど狭くなり

今回の修理の特徴

塔の特徴になっていきます。

異なる格狭間の飾りをつけ、本門寺五重

の彫刻で飾っています。脇間には特

彫られた髹股を配し、隅の繫肘木には

初層は、各柱間上に十二支の彫刻が

斧柄が塗られています。

三層以上は銅板葺です。外部は全体に

現在の屋根は初、二層は本瓦葺で、

建っているので低くは感じません。

塔の全長は二九、四〇で、五重塔とし

ては高いとはいえませんが、基壇上

理が行われ、五層木瓦は銅板葺に改め

られました。

前述(二)と本記によって塔全体が安定した姿になっている。

(四)軒先の反りにより優美な姿。石積の高い基壇(二重)の上に建立

(五)され、実寸より高く重厚に見える。初層(上下二段)平

(六)行垂木や十二支の髹股などで、日本的な落ち着きを表現している。

(七)二層から上が唐様。特徴は、二軒の扇垂木(放射状の垂木)や高欄付の廻縁など。

(八)屋根は初層・二層が本瓦葺、三層以上が銅板葺。建立当時は全層瓦葺でしたが、屋根を軽くするため、上から順次葺替えられました。

初層内部には須弥壇があり、仏像がまつられています。「南無妙法蓮華経」の御題目を陰刻した宝塔を中央に向つ

て左に釈迦如来、右に多宝如来の座像を安置しています。その下段に脇侍として上行・無辺行・淨行・安立行の四大菩薩がまつられています。六尊とも

合掌する姿をしており、皆五重塔と同久作」の銘文が発見されました。

塔の内部で仏像が安置されているのは初層だけ。二、五層には床がなく、点検・修理用の階段のみです。

文化財の修理は「できるだけ古い部材を残して修理する」という基本方針があります。建物を構成している部材

一つ一つに歴史的価値がある上、構造上重要な部材の破損が多いので、文化的価値が大きく損なわれないように、炭素繊維板で補強をして、全体の70%

を再利用することができました。

介したいと思っています。ご期待をこころ。

した姿になっている。

(四)軒先の反りにより優美な姿。石積の高い基壇(二重)の上に建立

(五)され、実寸より高く重厚に見える。初層(上下二段)平

(六)行垂木や十二支の髹股などで、日本的な落ち着きを表現している。

(七)二層から上が唐様。特徴は、二軒の扇垂木(放射状の垂木)や高欄付の廻縁など。

(八)屋根は初層・二層が本瓦葺、三層以上が銅板葺。建立当時は全層瓦葺でしたが、屋根を軽くするため、上から順次葺替えられました。

初層内部には須弥壇があり、仏像がまつられています。「南無妙法蓮華経」の御題目を陰刻した宝塔を中央に向つ

て左に釈迦如来、右に多宝如来の座像を安置しています。その下段に脇侍として上行・無辺行・淨行・安立行の四大菩薩がまつられています。六尊とも

合掌する姿をしており、皆五重塔と同久作」の銘文が発見されました。

塔の内部で仏像が安置されているのは初層だけ。二、五層には床がなく、点検・修理用の階段のみです。

文化財の修理は「できるだけ古い部材を残して修理する」という基本方針があります。建物を構成している部材

一つ一つに歴史的価値がある上、構造上重要な部材の破損が多いので、文化的価値が大きく損なわれないように、炭素繊維板で補強をして、全体の70%

を再利用することができました。

介したいと思っています。ご期待をこころ。



この「わがまちまごめ」は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

